

公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	障がい者福祉施策の最新の動向
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	障がい者福祉施策（児童福祉施策）の最新の動向
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 担当職員
○	5 担当講師略歴	別紙 8 参照
○	6 時間数	60 分
○	7 到達目標	障がい者福祉施策及び児童福祉施策の最新の動向にを学び、利用者の制度的環境の変化を理解する。
○	8 教科の概要	北海道障がい者保健福祉課の担当職員から、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義ろー、確認テスト
○	10 授業計画	講義 60 分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者等の役割
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者（児童発達支援管理責任者）の役割（多職種連携や地域連携の実践的事例からサービス担当者会議のポイントの整理）
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治
○	5 担当講師略歴	別紙 8 参照
○	6 時間数	50 分
○	7 到達目標	多職種連携や地域連携の実践事例を活用し、サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者の役割（相談支援専門員との連携や関係機関との連携方法）について理解する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義、確認テスト
○	10 授業計画	講義 50 分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標の一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	(自立支援)協議会を活用した地域課題の解決に向けた取り組み
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	(自立支援)協議会を活用した地域課題の解決に向けた取り組み(講義)
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治
○	5 担当講師略歴	別紙8 参照
○	6 時間数	50分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・(自立支援)協議会の意義、目的、活動内容等について理解する。 ・サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者の業務を通して見出される地域課題を解決するための(自立支援)協議会の活用について実践報告等により学ぶ。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義、確認テスト
○	10 授業計画	講義 50分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	モニタリングの方法
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	モニタリングの方法（講義・演習）
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治
○	5 担当講師略歴	別紙8 参照
○	6 時間数	120分
○	7 到達目標	事業所のモニタリングについて、サービス等利用計画との連動性を念頭に置きながら、モニタリングの視点・目的・手法等について講義により理解する。事例を通じて、モニタリングの演習を行い、その手法を獲得する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	講義、演習
○	10 授業計画	モニタリングの視点・目的・手法等について講義 グループワークを中心とする演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。
複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	個別支援会議の運営方法
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	個別支援会議の運営方法（講義・演習）
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治
○	5 担当講師略歴	別紙8 参照
○	6 時間数	270分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別支援会議の意義、進行方法、会議において行うべき事項（個別支援計画作成時、モニタリング時）等について講義により理解する。 ・ 個別支援会議における合意形成過程について、模擬個別支援会議の実施体験演習を通じて、サービス管理責任者等としての説明能力を獲得する。 ・ 模擬個別支援会議の体験をもとに、個別支援会議におけるサービス管理責任者等の役割についてグループワーク等により討議し、まとめる。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	講義、演習
○	10 授業計画	個別支援会議の意義等の講義 グループワークによる演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス提供職員への助言・指導について
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス提供職員への助言・指導について（講義・演習）
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治
○	5 担当講師略歴	別紙8 参照
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス提供職員への支援内容、権利擁護・法令遵守等に関する確認や助言・指導を適切に実施するための方法等について講義により理解する。 ・ 講義を踏まえて、受講者が事業所において実施している助言・指導業務について、グループワーク等により振り返るとともに、今後の取り組み方について討議する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	講義、演習
○	10 授業計画	講義、演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。
 複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	実地教育としての事例検討会の進め方
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	実地教育としての事例検討会の進め方（講義・演習）
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治
○	5 担当講師略歴	別紙 8 参照
○	6 時間数	120 分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会の目的、方法、効果等について講義により理解する。また、事例検討会の実施がチームアプローチの強化や人材育成にも効果を有することを理解する。 ・受講者が持ち寄った実践事例をもとに、事例検討会を行うことで、事例検討会の進め方を習得する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	講義、演習
○	10 授業計画	講義、演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。
 複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス担当者会議と（自立支援）協議会の活用についてのまとめ
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス担当者会議と（自立支援）協議会の活用についてのまとめ（演習）
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治
○	5 担当講師略歴	別紙8 参照
○	6 時間数	110分
○	7 到達目標	・サービス担当者会議や（自立支援）協議会に関する講義を踏まえ、多職種連携や地域連携の重要性、意義、ポイントについてグループワーク等による討議を通じて、連携のあり方についてまとめを行う。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	講義、演習
○	10 授業計画	講義、演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。
 複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること